

雷雲発生・雷鳴・雷光確認

- 雷鳴や雷光が確認されたら、直ちに避難行動に移る心構えで！
- 日頃から、生徒に、避難できる場所を考えさせておくようにする。

生徒の安全確保

- (1) 開けた広い空間（校庭等）が一番危険である。
屋外の活動をやめて直ちに屋内へ避難する。
- (2) 下校を中止し、生徒を学校に留め置く。
- (3) 登下校中であればできるだけ屋内へ避難する。
- (4) 自転車等に乘っていたら、すぐに下車して安全な屋内へ。

注意ポイント

- ×軒下の雨やどり、木の下
雨やどりは非常に危険です。
- ×「傘をさすこと」も危険です。

屋内避難が難しいときは、「雷しゃがみ」で待つ

- ①頭を下にかがめる。
- ②両手で耳をふさぎ、轟音を避ける。
- ③両足の「かかと」を合わせる。
- ④その姿勢を保って、つま先で立つ。
(かかとを地面から浮かせる。)



登下校時の安全及び被害の確認<教頭>

- 安全な場所への避難誘導
- 避難人数及び負傷状況の確認
- 職員等から被害状況の情報収集
- 地区巡回の手配
- 登校時「自宅で待機」及び、下校時「雷で下校が遅れる」旨の連絡メールの配信

安全確認

- 職員による地区巡回→学校へ連絡
- 気象情報から安全を確認
雷鳴が止んでから、30分経過をめやすとする。
- 下校を再開する。

下校不可時の避難行動

<長時間、学校に留め置く場合>メール配信：教頭

